



3月12日 茨城県茨城町へ応急給水隊を派遣



被災地からの要請で、
在阪企業の協力により
救援物資を搬送



3月17日 関西4政令指定都市（堺市、神戸市、京都市、大阪市）
が連携して震災復興のため積極的に取り組むことを表明



3月17日 岩手県大槌町で捜索救助活動を実施（写真提供：産経新聞社）

大阪市の総合力を発揮した支援活動

～皆さんの善意がたくさんの支援につながりました～

震災直後の主なうごき

3月11日 14:46 地震発生

- ・大阪市災害対策本部を設置
- ・直ちにDMAT（災害派遣医療チーム）や
緊急消防援助隊を派遣
- ・国の要請や「20大都市災害時相互
支援に関する協定」に基づく支援の実行



3月11日 緊急消防援助隊を派遣

3月12日 応急給水隊や緊急消防援助隊を派遣。救援物資の搬送など

3月17日 関西4都市緊急市長会議 → 「対口支援（※）」体制の提案

3月19日 国の要請により、福島第一原発へ緊急消防援助隊を派遣

3月24日 岩手県釜石市長からの要請に基づき、大阪市現地対策本部を設置
→「対口支援（※）」の実践

（※）被災していない特定の自治体が、被災した特定の自治体を長期的に支援する方法。



3月17日 緊急消防援助隊とともに救援物資を載せて被災地（岩手県大槌町）を走る市バス（写真提供：産経新聞社）

義援金額

8億9,400万
5,035円

（平成23年5月10日現在）

市民の皆さんからお預かりした救援物資

毛布 4,024枚
水 9,943本
紙おむつ 236,718枚 など

（救援物資の受付は平成23年5月16日現在一時中止中）

大阪市職員の派遣総数

1,246名（平成23年5月11日現在）

支援
内容
避難所運営支援
り災証明発行業務支援
がれき撤去相談業務 など



3月18日 岩手県釜石市避難所内救護所での派遣医師による診察



3月20日 福島第一原発での東京消防庁の放水作業に対する支援
活動を実施



3月27日から4月8日まで 市民の
皆さんと協働して街頭募金活動を実施



4月6日 岩手県釜石市へ
放置自転車80台を搬送

4月15日から 被災により発生したごみの
撤去のため、宮城県石巻市に支援隊を派遣



スタンドでは、たくさん応援メッセージが掲げられました。



延べ約3600人が参加し、義援金約180万円が集まりました。



避難された方々に、市民の皆さんから寄せられた数多くの生活用品をお持ち帰りいただきました。

市民の皆さん、ご協力ありがとうございます。

たくさんのご支援ありがとうございます。

東日本大震災の被災地支援では、義援金やボランティア活動など、多くの市民や企業の皆さんの「支え合う気持ち」をいただきありがとうございます。

私も仙台市や盛岡市で状況を視察し、自然災害の怖さを肌で感じました。大阪市においても、十分な備えを行う必要があると感じています。

また、市民ひとりひとりの日頃からの備えとあわせて、隣近所が支え合う関係づくりも大切だと実感しました。

市民の皆さんからさまざまなご意見をお聞きして、今後、大阪市の防災計画を見直し、災害に強い大阪市をつくっていきます。

大阪市長 平松 邦夫



大阪市には、幅広いコミュニティの輪が広がっています。そこにはたくさん、あたたかい大阪の「人」がいます。大阪市の最大の資源は『人』です。このロゴは、人の横顔が重なり合い、大阪市となっています。人と人がつながり、豊かな地域社会をつくらせていくことを表しています。

このリーフレットに関するお問い合わせ先は

大阪市情報公開宣伝課事業担当
電話 06-6208-7251
FAX 06-6227-9090

このリーフレットは40,000部発行し、1部あたりの単価は約8円です。再生紙を使用しています。



大阪市の 震災支援 レポート

大阪市の底力
～市民・企業・NPO みんなで支える～



市内の子どもたちが作成した応援メッセージ



3月29日 サッカー日本代表 チャリティーマッチを長居スタジアムで開催。



4月28日 (社)大阪フィルハーモニー交響楽団のご協力のもと、被災地支援コンサートを開催。(大阪市役所にて)



4月17日 多くのボランティアの方々の力で、大阪市に避難してきている方の「がんばろう東北」住民のつどい交流会が開催されました。(大阪市社会福祉協議会主催)